

目標設定シート (2009年度)

部局と評価項目・要素

対象部局	法学部
大項目	11 教員・教員組織
中項目	
小項目	11.0.1 大学として求める教員像および教員組織の編制方針を明確に定めているか。
要素	教員に求める能力・資質等の明確化 教員構成の明確化 教員の組織的な連携体制と教育研究に係る責任の所在の明確化
小項目	11.0.2 学部・研究科等の教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。
要素	編制方針に沿った教員組織の整備 授業科目と担当教員の適合性を判断する仕組みの整備 研究科担当教員の資格の明確化と適正配置（院・専院）
小項目	11.0.3 教員の募集・採用・昇格は適切に行われているか。
要素	教員の募集・採用・昇格等に関する規程および手続きの明確化 規程等に従った適切な教員人事
小項目	11.0.4 教員の資質の向上を図るための方策を講じているか。
要素	教員の教育研究活動等の評価の実施 ファカルティ・ディベロップメント（FD）の実施状況と有効性

○2009年度からの目標

1. 年齢構成および女性教員比率に配慮した教員採用を行う。
2. 社会的要請や担当分野の教員配置のバランスに適切に配慮した教員採用を行う。
3. 法曹界、地方自治体、ジャーナリズム、国際機関等、実社会での実務経験のある人材を適切に活用する。
4. 英語教育を一層充実させるために英語契約教員の採用を検討する。
5. 教学補佐やTA制度の効果的な活用を促進する。
6. TA制度に準じて、ロースクール学生ないし修了生活用の制度の導入を検討する。
7. 各法曹団体等との学術交流協定の締結等による協力関係を確立する。

○指標

1. 「専任教員の年齢構成、性別の状況」「改善の機会の有無と改善の実施の有無」
2. 「改善の機会の有無と改善の実現の有無」
3. 「実務家教員数と担当科目総数」
4. 「英語契約教員採用のための検討状況・採用実施状況」
5. 「教学補佐採用数とTA採用数、学習相談件数、補助担当授業総数」
6. 「ロースクール生ないし修了生の採用の検討状況・採用実施状況」
7. 「学術交流協定数、意見交換会の回数」